



生活指導通信

No. 4

《学校生活の様子について》

定期考查が終わりました。生徒たちは返却された答案を見て、一喜一憂していました。点数だけにとらわれず各教科で行っているテスト直し等に一生懸命取り組みながら、自分自身の課題や今後の改善点を確認していました。

課題であった提出物は、学校に関するものは改善傾向にありほとんどの生徒が期限を守るようになりました。一方で教科の提出物は、指定された範囲に欠けがある、そもそも期限を守れない、提出しないという事態が続いています。学習カードの書き方については、各教科で実際に生徒が書いた見本を提示したり、書き方についての参考資料を提示したりと対策をしています。ICT化が進む中でchromebook 内での課題提出もあります。これからも生徒がしっかりと課題を提出できる準備や説明の徹底をしてまいります。



闇バイト防止啓発指導を行いました。

終業式で夏季休業中に落としてはいけない4つのものについて話をしました。

- ①命…これは夏季休業中だけではなく、自分の命も他人の命も大切にすること。
- ②品格…清潔感があり、身だしなみが整っていること。礼儀やマナー、言葉遣いに気を付けること。
- ③学力…予習や復習、これまでとこれからの学習に見通しを立て、家庭学習をすること。
- ④体力…健康・熱中症に気を付け、時間帯を選んで可能な範囲で軽い運動を行うこと。

長い休みになりますが、上記4つを常に意識し、健康・安全で有意義な夏休みにするようにと話をしました。

《あいさつ運動実施》

6月末から生活委員会があいさつ運動を行いました。毎週月曜日は昇降口で、金曜日は昼休みに校内を周りながらあいさつを促しています。生活委員の大きなあいさつに、「こんにちは」と気持ちの良いあいさつが返ってきます。あいさつ運動期間中だけでなく、取組終了後も自分からあいさつができるように指導をしてまいります。写真は1年生が旗をもって校内を周っているときのものです。また、少しでも楽しく取り組めるように校内を周っているときは、三波春夫さんの「世界の国からこんにちは」を流しています。



重要《きまりの変更と確認》

着用しているポロシャツの色を白・紺としていましたが、灰と黒を追加しました。ポロシャツの色にもう少し選択の幅があるといいという声が以前からあり、検討の結果、着用しているソックスの色と合わせました。

また、塩分チャージ等のタブレット錠について、平日の学校への持ち込みは認めていません。休日行う一部の部活動では活動時間が長く、しかも気温の高い時間帯であることから、顧問の管理の下塩分チャージ等のタブレット錠を口に含むことを認めています。しかし、体育の授業や平日の部活動は活動時間が短いこと、しかも平日の部活動は気温の下がる時間帯に行うことから、タブレット錠によるナトリウムの補給は必須ではないと考えているからです。なお、摂取が認められている休日の部活動においても、食べる際は自分自身で食べることとし、持ち込んだものを他の生徒に配布することがないようにご指導ください。

《いのちの大切さを共に考える日について》

7月7日(月)全校朝礼の時間に、生徒と一緒にいのちの大切さについて考えました。校長講話で当時の戦争下において、小学生になるかならないかぐらいの子供が、自分の死んだ弟を背負って焼き場に立つ写真と SNS のコメントによる誹謗中傷が原因で自殺した女子プロレスラーのインスタグラムの画面とをスライドで見ながら校長の話聞き、生徒たちは自分のいのち、相手のいのちについて考えました。最後に校長は、「自分の代わりはいない、かけがえのない存在」と生徒たちに伝えました。



《夏休みのしおりについて》

夏休みのしおりを配布しました。保護者にコメントをいただく欄がありますのでご確認ください。8月26日(火)の始業式に提出をしてください。

生徒が記入する予定表等もありますので、しっかり書けているかも見ていただきますようよろしくお願いします。



マルタスク能力の向上

朝礼で表題について話をしました。様々なことを同時に行っていくことと臨機応変に対応すること。こうしたことを可能にする力をマルタスク能力といいますが、これが生徒の課題と考えています。そこで朝礼で、各教科での宿題、日常生活や部活動等、様々なことを日々行っていく中で必要なことを、私の経験や実践例を踏まえて話しました。マルタスク力を上げるにあたり大切なことは次の3つです。

①習慣を作る…同じ時間に同じことをすることが大切です。

例) 次の週の予定をパソコンに入力する作業を毎週金曜日の1時間目に行うと決めています。

②隙間時間を活用…全てを一気にやるのではなく、一つ一つを少しずつ行うとよいです。

経験) 始めたことが途中で終わることが嫌だったので、そうならないよう全てを終えられる時間を見付けてそこで一気にやっていました。しかしそうすると、作業時間を見付けることに時間ばかり作ってしまっていました。しかし、一人分でも二人分でも時間があるときにノートや紙のチェックをするようにしたら作業効率が格段に上がりました。

③やることの見える化…todo リストを作ることが大切です。それも自分に合ったものを使うとよいです。

例) Googlekeep のようなアプリを使っています。ノートや紙に書くことは書いたり、見たりが大変なので全て携帯手帳アプリを使っています。

上記に併せて1分以内に終わることはその場ですぐにやることを心がけています。

中学生はやることが多く、その大変さは理解していますが、ご家庭でもぜひご自身の経験談をお子様に話していただき、物事を効率よくかつ期限内に取り組めるようにお子様と一緒に課題解決に向けて話をさせていただけたら幸いです。

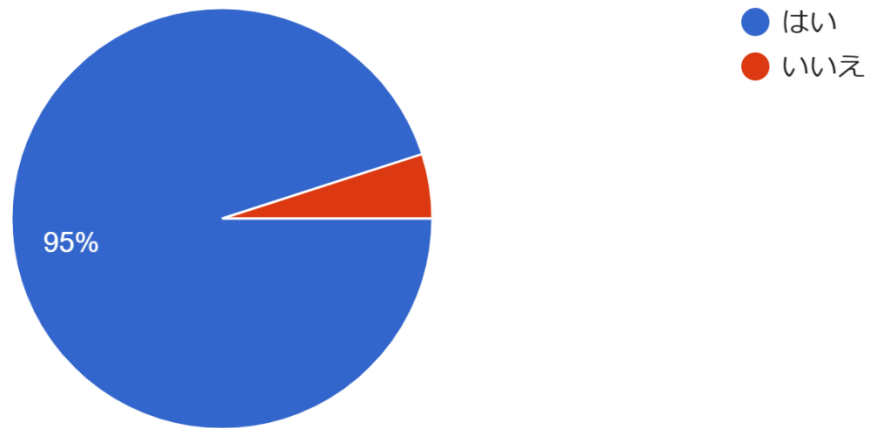
スマートフォンの使い方について

スマートフォンについて全校で利用状況の調査を行いました。家庭でのルールがないと答えた生徒が41%いました。上柚木中学校では SNS によるトラブルについてさほど発生していませんが、いつどこでトラブルや事件に巻き込まれるか分かりません。ぜひ家庭でのルールを設定していただけたらと思います。データを参考に夏季休業中に、ご家庭でのルールや使い方について再確認をお願いします。(別紙①参照)

スマホ等利用状況調査アンケート結果

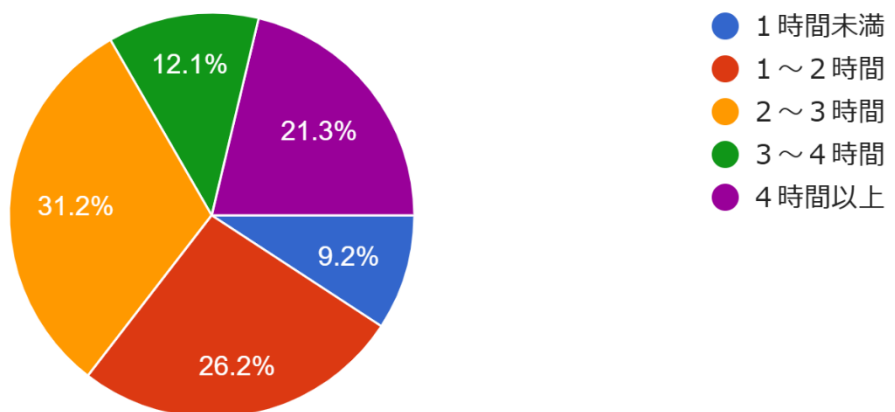
①スマートフォンを持っている。

141 件の回答



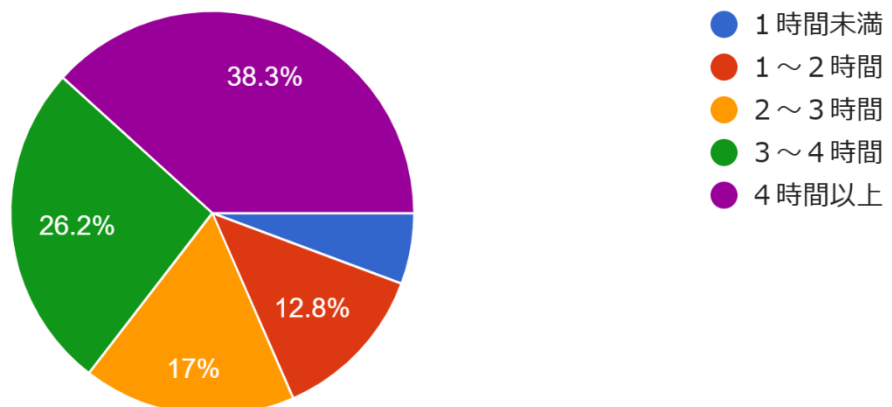
②平日の1日の平均利用時間

141 件の回答



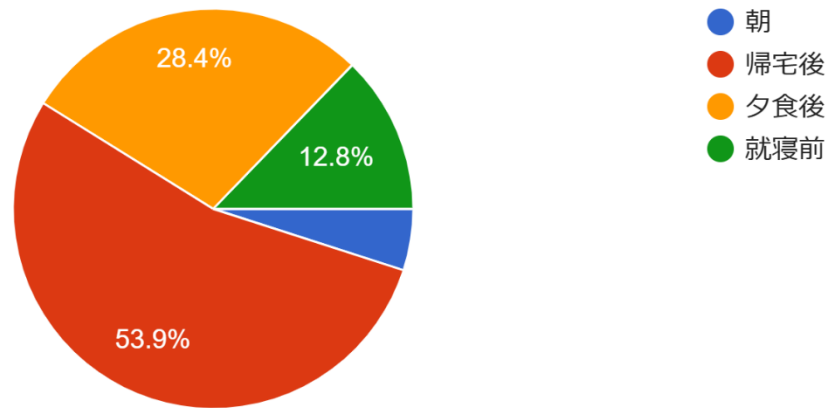
③休日の1日の平均利用時間

141 件の回答



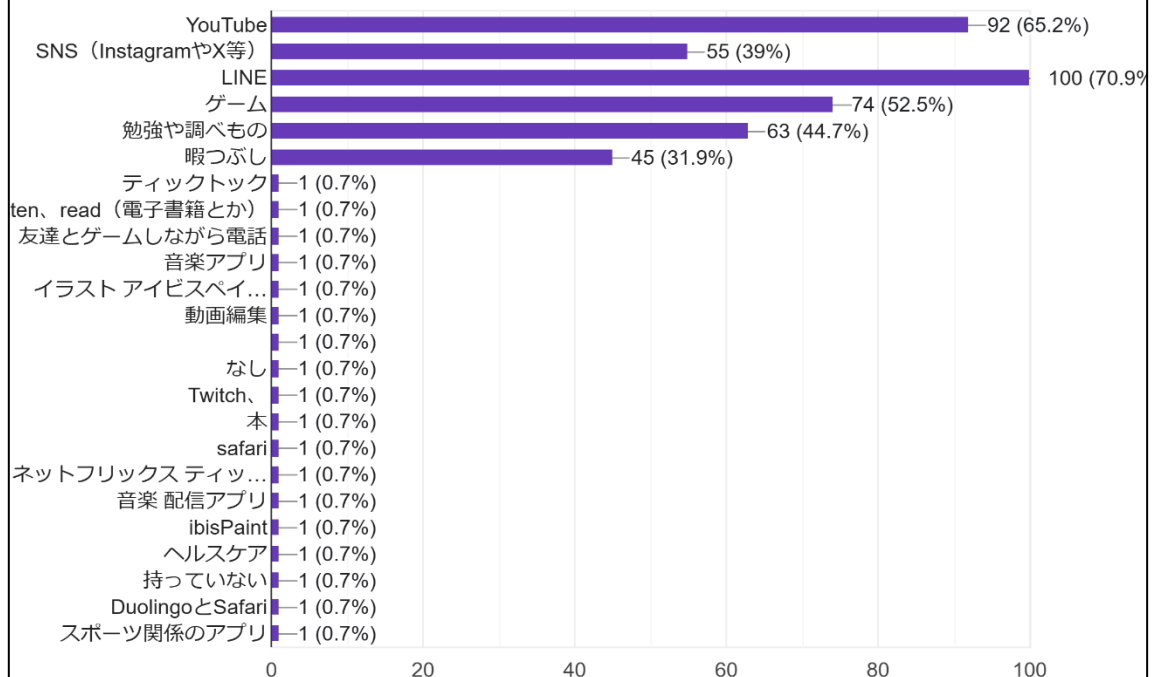
④一番スマートフォンを使う時間帯

141 件の回答



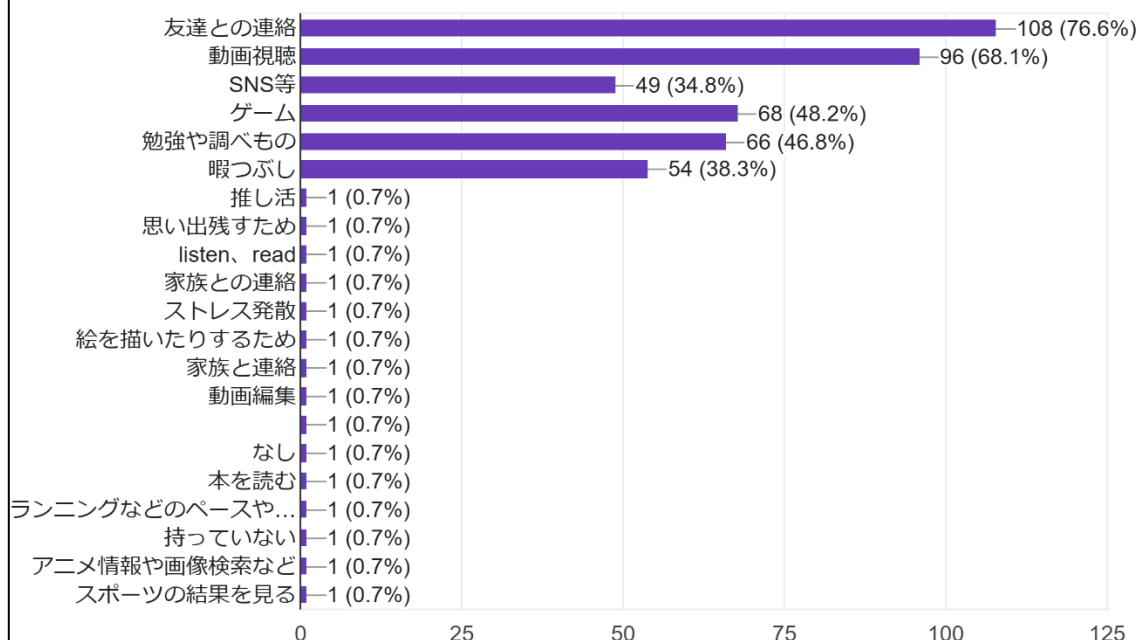
⑤よく使うアプリやサービス（複数回答可）

141 件の回答



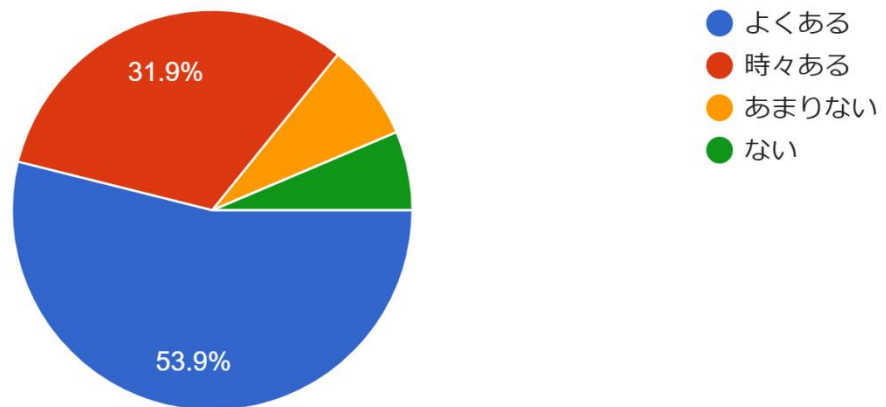
⑥スマートフォンを使う主な目的（複数回答可）

141 件の回答



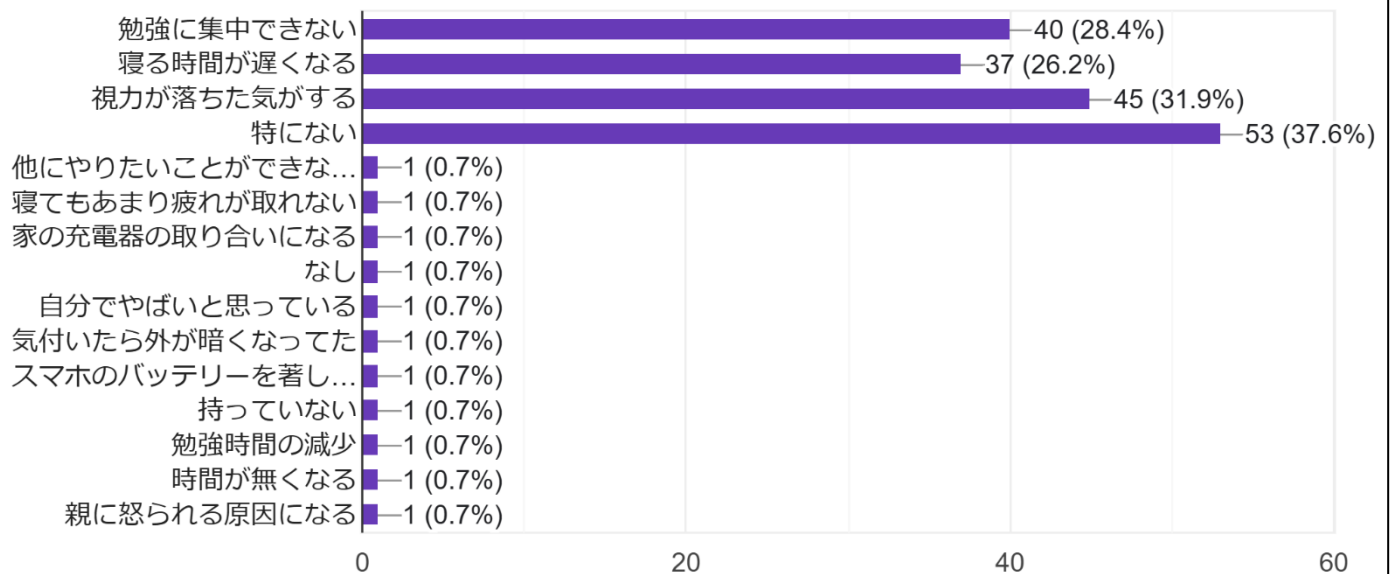
⑦スマートフォンを「つい長時間使ってしまう」と感じるか

141 件の回答



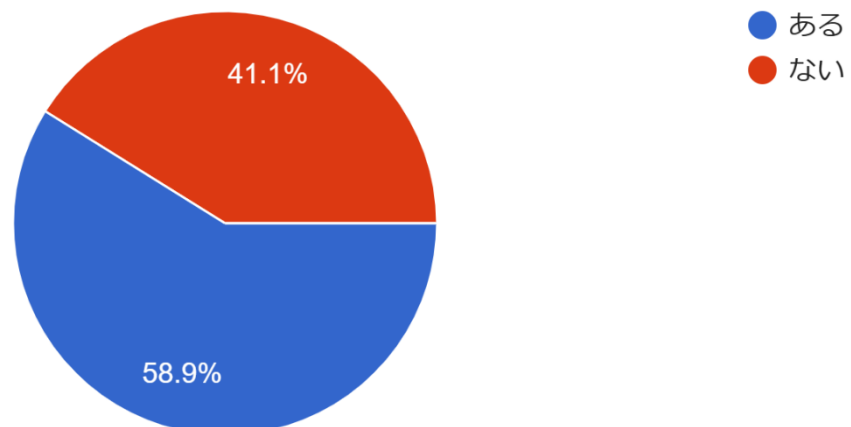
⑧スマートフォンを使いすぎて困ることがあるか

141 件の回答



⑨家庭でのスマートフォンの利用のルールはあるか

141 件の回答

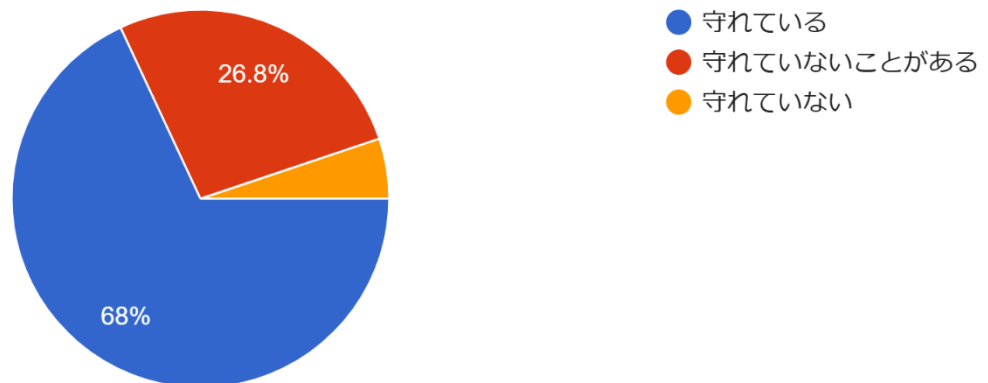


⑩ルールがあると答えた場合はどのようなルールか。(いくつか抜粋)

- 時間制限(夜9時まで・夜10時まで・朝6時から1時間)
- 使用制限(1日1時間まで・1日2時間まで・1GBまで・ゲームは30分まで)
- 親のいる前で使う。親に預ける。
- Xや Instagram 等、SNS アプリの使用禁止。アプリ以外のゲーム禁止。
- 入れることのできるアプリを親から指定されている。
- SNS 等に写真をアップしない。
- フィルターをかける。
- 電話以外は自分の部屋での使用禁止。ベッドの中で使用禁止。
- 課金をしてはいけない。
- アプリをダウンロードする時は親の許可をもらう。

⑪そのルールを守れているか

97 件の回答



⑫スマートフォンの使い方について思っていることや悩みごとがあれば書いてください。(いくつか抜粋)

- 特にはないです。
- 勉強をしようと思ってもなかなかやめられない。
- 自分の LINE 等の返信スピードが遅くて呆れてしまう。
- つい使いすぎてしまう。
- LINE 等で言葉遣いがどうなのかと思うことがある。
- 辞め時が見つからない。
- 5分のつもりが1時間になってしまう。
- 変な広告や闇バイトの誘いのようなものが来る。全て削除している。

※白黒印刷ではグラフ等が見えにくいですが。ホームページにはカラーでアップされているのでそちらをご確認ください。